

国際理解出前講座



アフガニスタンを知って、 そして忘れないで



11月30日、姫路市立姫路高校にて春木信韻さんによる国際理解出前講座「アフガニスタンを知って、そして忘れないで」を行いました。

春木さんは地雷によって手足を失った人々に義肢を届ける活動をされています。

講座はまず、アフガニスタンの地理や歴史の紹介から始まりました。乾燥した地域ですが、6,000メートル級の山々からの雪解け水があるため、たくさんの作物が育てられています。また、他国に囲まれている内陸国であり多民族国家であるため、昔から他国との戦争や内戦が行われてきました。

春木さんは40年ほど前にアフガニスタンに旅行されたそうですが、近年のテロによって破壊された街の様子などを40年前の写真と比較しながら紹介されました。地雷撤去の動画もあり、生徒たちは真剣に見入っていました。



〈地雷の模型〉

地雷も時代に応じて変化しており、金属探知機で発見できないようにプラスチックや紙でできているものもあるそうです。手のひらに載るほどのサイズで、1つ300円ほどで作ることができるそうです。



義肢作りは「なぜ必要なのか」をじっくりと聞き取ることから始まります。できあがってからも、渡して終わりではなく、調整したり、使いこなせるまで練習したりと膨大な時間がかかります。子どもの場合は成長に合わせて作り替えていく必要があります。

義肢を装着した人々の表情は希望に輝いていました。生徒たちも心動かされたようです。講座の後には質問をしたり、義足に触らせてもらったりなど積極的な姿勢が印象的でした。